

☆ きのご観察会を行いました(10月9日) ☆

今年で5回目の「きのご観察会」。講師にきのごアドバイザーの衛藤慎也先生を迎え、62名の方にご参加頂きました。今年はやや乾燥しており、きのこの数も少な目でしたが、種類はおもしろいのが出てきました。マンネンタケの仲間の「マゴジャクシ」やアカマツ林に生える「ハツタケ」など、名前が分かったものだけで27種見つかりました。これは自然観察園が開園してからの過去4回で最多。今回を含め48種のきのこの発生を確認できました。今度はどんなきのごに出会えるのか、来年も楽しみです。



「ハツタケ」



今年も出てきた「サクラシメジ」



「トキイロラッパタケ」



マンネンタケのなかま「マゴジャクシ」

【今回見つかった名前がついたきのこ】

＜食べられる＞

サクラシメジ、アマタケ、ハツタケ、トキイロラッパタケ、カノシタ、オオキツネタケ、  
ウスムラサキホウキタケ、ウラベニホテイシメジ、ムラサキアブラシメジモドキ

＜食べられるが注意が必要＞

ヌメリイグチ、ホコリタケのなかま

＜有毒＞

クサウラベニタケ、ニガクリタケ、コタマゴテングタケ、ドクツルタケ、フクロツルタケ、  
サマツモドキ、オニタケのなかま、ドクベニタケのなかま、

＜その他＞

チャツムタケ、マゴジャクシ、ミキイロウスタケ、シハイタケ、オオギタケ、カワラタケ、ヒイロタケ、  
シロハツ

過去4回の「きのこ観察会」で見つかった菌類リスト

2011年10月 せら夢公園

科名	属名	標準和名	食毒	2008年 10月12日	2009年 10月11日	2010年 10月10日	2011年 10月9日	
1 ヒラタケ科	ヒラタケ属	ウスヒラタケ	食			○		
2 ヌメリガサ科	ヌメリガサ属	サクラシメジ	食	○		○	○	
3 キシメジ科	キツネタケ属	オオキツネタケ	食		○	○	○	
4	キシメジ属	シロマツタケモドキ			○			
5	スギヒラタケ属	スギヒラタケ	毒		○			
6	クヌギタケ属	サクラタケ	毒			○		
7	サマツモドキ属	サマツモドキ	毒				○	
8 テングタケ科	テングタケ属	テングタケ	毒			○		
9		ドクツルタケ	猛毒				○	
10		コタマゴテングタケ	毒		○	○	○	
11		フクロツルタケ	毒				○	
12		タマシロオニタケ	猛毒	○				
13 ハラタケ科	キツネノカラカサ属	オニタケのなかま	注				○	
14 モエギタケ科	クリタケ属	ニガクリタケ	猛毒			○	○	
15 オウギタケ科	オウギタケ属	オウギタケ			○		○	
16 フウセンタケ科	フウセンタケ属	クリフウセンタケ	食	○				
17		ムラサキフウセンタケ	食	○				
18		フウセンタケモドキ			○			
19		ムラサキアブラシメジモドキ	食	○	○	○	○	
20		キンチャフウセンタケ				○		
21	チャツムタケ属	チャツムタケ	不食		○	○	○	
22	ショウゲンジ属	ショウゲンジ	食	○				
23 イッポンシメジ科	イッポンシメジ属	クサウラベニタケ	毒	○	○	○	○	
24		ウラベニホテイシメジ	食	○			○	
25		コムラサキイッポンシメジ				○		
26 イグチ科	ヌメリイグチ属	ヌメリイグチ	注	○	○	○	○	
27		アミタケ	食	○		○	○	
28	ニガイグチ属	ウラグロニガイグチ	注	○	○	○		
29		アケボノアワタケ			○			
30 オニイグチ科	キクバナイグチ属	セイタカイグチ	食			○		
31 ベニタケ科	ベニタケ属	シロハツ	不食				○	
32		ドクベニタケ	不食		○		○	
33		アイバシロハツ	不食			○		
34	チチタケ属	ハツタケ	食				○	
35 アンズタケ科	アンズタケ属	トキイロラッパタケ	食	○		○	○	
36		ミキイロウスタケ	不食				○	
37 ホウキタケ科	ホウキタケ属	ホウキタケ	食	○				
38		ウスムラサキホウキタケ	食				○	
39 カノシタ科	カノシタ属	カノシタ	食		○		○	
40 イボタケ科	クロカワ属	クロカワ	食	○				
41 タコウキン科	カワラタケ属	カワラタケ	不食		○		○	
42	シュタケ属	ヒイロタケ	不食				○	
43 マンネンタケ科	マンネンタケ属	マンネンタケ	不食		○			
44		マゴジャクシ			○		○	
45 サルノコシカケ科	シハイタケ属	シハイタケ					○	
46	チャミダレアミタケ属	ミイロアミタケ			○			
47 ホコリタケ科	ホコリタケ属	ホコリタケ		○	○	○	○	
48 バッカクキン科	冬虫夏草属	カメムシタケ	不食		○			
				種数(種)	15	20	19	27
				参加者数(人)	42	53	52	62

※ 講師の衛藤慎也氏による同定を、管理人が記録したものを基に作成した。

文献：比婆科学教育振興会・広島きのこ同好会、『広島島のキノコ』、中国新聞社、1992年。